

CONVERSATION ON CREATIVE COLLABORATION WITH ARTISTS CONTEMPORARY ART JONATHAN WATKINS, JO MELVIN AND YOHKO WATANABE

16 JAN 2017, 18:30-20:00 KEIO UNIVERSITY (MITA)
MINAMI SCHOOL BUILDING ROOM 473

2017年1月16日(月) 18:30-20:00

慶應義塾大学 三田キャンパス 南校舎 473 番教室

現代美術の魅力の一つは、その作品を作り出すアーティストが現実中存在し、その存在に触れることができること、一緒に仕事をするということです。アーティストとキュレーター、編集者や研究者はどの様に関わり、創造的な仕事を展開することが可能となるのでしょうか。

現代美術の現場で仕事をしてきた二人のスピーカー、ジョナサン・ワトキンス氏とジョー・メルヴィン氏をお迎えし、現代美術のもっとも生き生きとして魅力的な部分を、その経験に根差した形で語っていただきます。参加者からも自由な応答を期待するオープンな会話の機会を提供したいと考えています。

バーミンガムのアイコン・ギャラリーのディレクター、ジョナサン・ワトキンス氏は、ロンドンのサーペンタイン・ギャラリーやチセンホール・ギャラリーのキュレーターを歴任し、シドニー・ビエンナーレ(1998)や上海ビエンナーレ(2006)のコミッショナーも務めて、欧米だけでなく、広く日本を含めたアジアのアーティストたちも紹介しながら協働してきました。作家からの信頼も厚い彼の仕事ぶりは、創造的共同(コラボレーション)の典型と言えるかもしれません。バリー・フラナガン・エステートのディレクター、ジョー・メルヴィン氏は、バリー・フラナガンのアーカイヴを形成し、レゾネの発行を控えています。彼女も様々な展覧会をキュレーションしていますが、一人のアーティストとの深い関わりが、他の創造的な共同作業にも展開していると言えるでしょう。

入場無料/要事前申込み|ウェブサイトよりお申し込みください

※ どなたでもご参加いただけます/トークは全編英語で行われます

お問い合わせ|慶應義塾大学アート・センター(本間)

03-5427-1621 archives@contact.art-c.keio.ac.jp